

琵琶湖部会一般意見聴取の会(2002.11.9 開催)結果報告  
テーマ：あすの琵琶湖とその集水域の水管理に向けて

2002.11.13 庶務発信

開催日時：2002年11月9日(土) 9:30~12:30  
場所：彦根プリンスホテル 2階 プリンスホール  
参加者数：委員12名、一般傍聴者84名

1 本日の試行の会について

本日の会の主催、琵琶湖部会一般意見聴取検討班三田村リーダーから淀川水系流域委員会の役割と本日の会の趣旨について説明が行われた。

2 一般からの意見発表と質疑応答

3名の発表者から各20分意見発表が行われた後、委員との質疑応答が各10分行われた。

今村忠彦氏(EPCS 環境計画市民会議 代表)

発表内容：既存技術の見直しと活用、河川技術者(建設技術者)と地域住民との交流やNPO/NGOとの連携、それらを実現するためのマネジメントシステムの確立、など

・現場の技術や意見が大切だということだが、建設業に携わる中で、地域住民の意見を聞き、それをどう実現してきたのか、お聞かせ願いたい。(委員)

山林の整備について、行政と地域の方々の間を取り持つことで、地域の方に地元の森や川を再発見してもらうことができた。(発表者)

疋田忠夫氏(愛知川 川づくり会議)

発表内容：縦割行政の弊害、ダムや田ごしかんがいによる水質悪化、住民と川との関わりを取り戻す必要性、など

・30年前の行政的な決定のツケがまわってきている。行政は上に行くほど、横の繋がりが失われているが、地元はまだ繋がったままのところが多い。地元から声をどんどん出してがんばってほしい。(委員)

竹田勝博氏

発表内容：内湖の多様な機能と回復の必要性、湿地の開発状況、内湖干拓の変遷、小中の湖と西の湖で発生している水質汚染、など

・内湖の回復事業が現実に動き始めている箇所もあるが、他に復元に適している箇所があれば、お聞かせ頂きたい。(委員)

津田内湖でも復元計画が行われているが、他の内湖についても、しっかりと考え直すべき時期にあると考えている。(発表者)

3 一般傍聴者からの意見発表

会場から飛び入りの発表者を募った結果、一般傍聴者3名より希望があり、意見発表が行われた。

北村又郎氏(高月町長)

発表内容：住民の治水・利水に関する不安と丹生ダムの必要性、代替策としての超長期の時間が必要な堤防強化による破堤対策の非現実性、など

酒井研一氏(滋賀県議会議員、湖北土地改良区 理事)

発表内容：治水上の不安解消や河川維持用水の確保等の面から見た丹生ダムの必要性、地元の歴史的経緯を尊重した計画への要望、など

鳥塚五十三氏(南浜漁業協同組合代表理事組合長)

発表内容：水質回復のための農業用水のリサイクル、農薬等を原因とする体形異常魚について、など

4 委員と意見発表者との意見交換

委員と発表者全員との意見交換(発表者同士の意見交換も含む)が行われた。

5 一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者からの発言はなかった。

6 その他

三田村リーダーから全委員に対して「前回(11/4)と今回(11/9)の試行を総括し、より良い意見聴取のあり方について意見を提出してほしい」との依頼があった。

このお知らせは委員の皆様主に決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。